



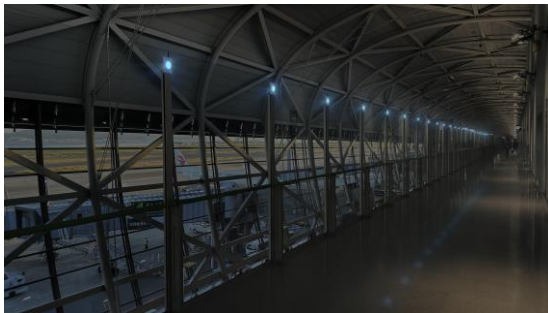
瀬戸内をテーマにしたメディアアート作品を展示 関西国際空港で文化庁主催の「DEEP JAPAN」開催

関西エアポート株式会社は、関西国際空港第1ターミナルビルの国際線南北到着導線にて、「瀬戸内」をテーマとしたメディアアート作品を展示する「DEEP JAPAN」を2月16日（日）～3月31日（火）の期間で開催しています。文化庁が主催する訪日観光客向けの新事業「令和元年度空港等におけるメディア芸術日本文化発信事業」の一環として、せとうちDMO、公益財団法人石川文化振興財団、西日本旅客鉄道株式会社、関西エアポート株式会社の協力のもと実施します。

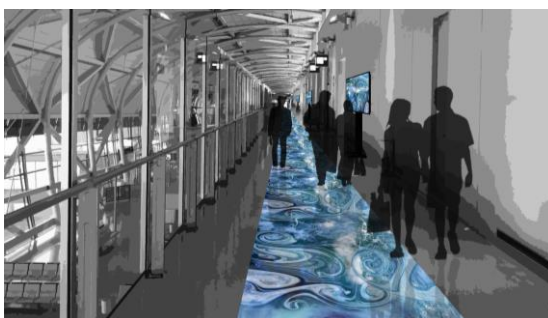
関西国際空港では、「DEEP JAPAN」を通じた瀬戸内へのゲートウェイ空港としての認知拡大や、アート作品の展示を通じての瀬戸内エリアの誘客促進と日本文化への興味喚起を目的としており、本展示が魅力的な空港の空間づくりにも寄与するものと考えています。

期間中は、第1ターミナルビル国際線南側到着導線の約570mにRhizomatiks Research真鍋大度氏の作品「phase」、国際線北側到着導線の約400mにはアーティスト中山晃子氏の作品「渦潮図」を、それぞれ宇川直宏氏のプロデュースにより展示いたします。「phase」は、瀬戸内の波のデータと国際線到着時間のデータから生成するデータビジュアライゼーションの新作。「渦潮図」は、作家が鳴門の渦潮からインスピレーションを受けて表現されたアライブペインティングパフォーマンスの新作です。

■ 展示イメージ（国際線南北到着導線）



Rhizomatiks Research 真鍋大度氏の作品（国際線南側到着導線）



中山晃子氏の作品（国際線北側到着導線）



また、3月上旬からはJR関西空港駅構内においてもメディアアート作品の展示を予定しており、空港から鉄道駅を経て瀬戸内エリアに至る一体感を醸成します。

関西国際空港に到着された多くの観光客の方々に最先端のメディア芸術に触れていただきながら、日本文化の新たな気づき・魅力を伝えていきます。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社 企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
Tel : 072-455-2201

■「DEEP JAPAN」開催概要（第1期）

日時：令和2年2月16日（日）～3月31日（火）

場所：関西国際空港 第1ターミナルビル 国際線南北到着導線

アーティスト：真鍋大度、中山晃子 / クリエイティブ・プロデューサー：宇川直宏

協力：せとうちDMO、（公財）石川文化振興財団、西日本旅客鉄道（株）、関西エアポート（株）

主催：文化庁「令和元年度空港等におけるメディア芸術日本文化発信事業」

■アーティスト：真鍋大度



東京を拠点としたアーティスト、インタラクティブデザイナー、プログラマー、DJ。2006年 Rhizomatiks 設立、2015年より Rhizomatiks の中でも R&D 的要素の強いプロジェクトを行う Rhizomatiks Research を石橋素氏と共同主宰。身近な現象や素材を異なる目線で捉え直し、組み合わせることで作品を制作。高解像度、高臨場感といったリッチな表現を目指すだけでなく、注意深く観察することにより発見できる現象、身体、プログラミング、コンピュータそのものが持つ本質的な面白さや、アナログとデジタル、リアルとバーチャルの関係性、境界線に着目し、デザイン、アート、エンターテインメントの領域で活動している。

■アーティスト：中山晃子



2012年 東京造形大学 造形学部美術学科絵画専攻領域 卒業。2014年 東京造形大学 造形学部美術研究領域 修士課程 修了。

画家。色彩と流動の持つエネルギーを用い、様々な素材を反応させることで生きている絵を出現させる。絶えず変容していく『Alive Painting』シリーズや、その排液を濾過させるプロセスを可視化し定着させる『Still Life』シリーズなど、パフォーマンス的な要素の強い絵画は常に生成され続ける。様々なメディアや色彩が渾然となり、生き生きと変化していく作品は、即興的な詩のようでもある。鑑賞者はこの詩的な風景に、自己や生物、自然などを投影させながら導かれ入り込んでいく。

■クリエイティブ・プロデューサー：宇川直宏（DOMMUNE）



1968年香川県生まれ。現”在” 美術家。映像作家、グラフィックデザイナー、VJ、文筆家、大学教授など、80年代末より、さまざまな領域で多岐にわたる活動を行う。2001年「BuzzClub: News from Japan」（MoMA PS1・ニューヨーク）、「JAM: Tokyo-London」（Barbican Art Gallery・ロンドン）に参加して以来、国内外の多くの展覧会で作品を発表。2010年には、日本初のライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE」を開局。

■「令和元年度空港等におけるメディア芸術日本文化発信事業」とは：

文化庁は、「空港等におけるメディア芸術日本文化発信事業」のプロジェクトの一環として『メディア芸術×文化資源 分散型ミュージアム』を国内の空港10箇所程度で順次展開中です。本プロジェクトでは、日本各地域の土壌が育んだ豊かな文化資源をアーティスト・クリエイターたちがその魅力を新たな視点で表現し、各地域の玄関口である空港等で展示いたします。展示されたメディア芸術作品をきっかけに、訪日観光客を日本文化の新しい魅力に出会う旅へと促します。

本プロジェクト HP <https://jmadm.jp/>

文化庁 HP <https://www.bunka.go.jp/>

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 37 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、45 空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するブラジル、カンボジア、チリ、コスタリカ、ドミニカ共和国、フランス、日本、ポルトガル、セルビア、スウェーデン、イギリス、そしてアメリカ合衆国の空港には、合計で 250 社以上の航空会社が就航し、2019 年の旅客者数は 2 億 5,500 万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2019 年の連結売上高は 26 億ユーロ、グループ全体の売上高は 49 億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱 U F J 銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構